

巻頭特集

メリットはある？

私にも何かできる？

ポジティブに楽しく取り組もう！

教えてくれるのは



日本福祉大学 国際福祉開発学部 ちかみ さとし 千頭 聡 教授

はじめてのSDGs

カラフルなマークは何？

い〜ぶるくんと学ぶ

SDGsってどういう意味？

環境や社会問題への取り組みとして、よく見聞きするSDGsという言葉。

「なんとなくしか知らない」「自分にはあまり関係ない」そう思っている人も多いのではないのでしょうか。SDGsが私たちの生活にどれだけ関わっているのか、

日本福祉大学国際福祉開発学部の千頭聡教授に聞きました！

千頭教授 SDGsは「エス・ディー・ジーズ」と読み、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals、サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)を略した言葉。2030年までに、地球が抱える問題を解決するための17個の国際目標で、貧困・環境・人権問題などの課題の解決に向け、世界中の人々が協力し合えるよう設定されました。よく見かけるカラフルなマークは17個あり、それぞれの目標を表しています。

千頭教授 僕がすぐに始められること何かあるのかな？

千頭教授 水を出したまま歯磨きをしない、食事を残さないなど、暮らしのなかで、できることはたくさんあります。小さな取り組みも、大きなゴールにつながっています。ごみを拾ってキレイになればうれしいし、環境が良くなると思えば、やりがいが出ます。例えば知多半島には鉄鋼業があり、農業も漁業も盛んです。地域の特徴を生かしても、さまざまな取り組みができます。農業は目標の2番につながっています。地域の人たちで休耕田を耕すのもSDGsの一つです。

千頭教授 SDGsに取り組むと僕にもいいことがあるの？

千頭教授 ペットボトルのお茶は約150円ですが、水道水なら値段は2000分の1。マイボトルを持ち歩けばエコになり、お金も節約できます。SDGsは毎日の生活につながっていることばかり。それに気づくと、メリツトを感じられるのではないのでしょうか。義務感でやるのではなく、楽しみながら取り組みましょう。

千頭教授 身近な視点に置き換えて考えてみるのが大切ワン

千頭教授 まず、SDGsについて知ることが第一歩です。そして、地域の特徴に応じてカスタマイズし、知多版や我が家版のローカルSDGsに取り組めば、まちの未来や暮らしが今より素敵なものになりますよ。

千頭教授 千頭教授 SDGsは地球規模の取り組みですが、一人ひとりの行動の積み重ねが大切なんです。会社や店、学校から個人まで、全ての人がSDGsに取り組むことで、目標の達成に近づきます。17の目標は、貧困問題からパートナーシップまで多岐に渡ります。一つや二つは自分の生活に関連していませんか。

千頭教授 身近な視点に置き換えて考えてみるのが大切ワン

千頭教授 まず、SDGsについて知ることが第一歩です。そして、地域の特徴に応じてカスタマイズし、知多版や我が家版のローカルSDGsに取り組めば、まちの未来や暮らしが今より素敵なものになりますよ。

2030年の達成を目指すSDGsの17の目標



身近なところでできること

日本福祉大学 国際福祉開発学部のみなさんに、今日からできるSDGsを教えてくださいました！

賞味期限が近いものを選ぶ

スーパーなどで買い物をするとき、その日に使う食材はあえて賞味期限が近いものを選びましょう。割引になっていることも多いので、家計的に助かるというメリットも得られます。また、小盛りサイズなど、残さずに食べ切れる量を選ぶことも食品ロスを防ぐポイントです。



食品だけでなく作ってくれた人の労働力も無駄になってしまうワン。それに、ごみ焼却は税金で行っているの、廃棄物が少なくなる方がいいよね〜

地産地消を心がける

地元の野菜を選べば、新鮮で生産者の顔も見え、輸送にかかるエネルギーも少なく、相対的にいい品を安く買えます。新鮮な野菜は栄養価が高いので健康面でもうれしい効果あり。また、地産地消は、地域の生産者の保護や環境問題にもつながります。



最近の猛暑や豪雨・土砂災害、農作物の供給不足は、CO2の排出など環境問題が関係しているんだワン

家にあるものを見直してみる

冷蔵庫や棚にある食品をすべて出し、賞味期限が切れていないかチェック。手持ちの服は、なぜ買ったのか、この1年で何回着たかを振り返ります。家にあるものを見直すと、無駄な買い物を減らせます。



不要品を捨てずに、リサイクルショップに持って行くのもSDGs!

安さだけを基準にしない

安い服の裏側には、発展途上国の人が低賃金で働いている問題が隠れているケースもあります。本当に必要なかをよく考え、安さだけで買わないように心がけましょう。少し高くても、欲しいものだけを選べば、大切に持って長持ちするので、結果的にはお得に。



価格競争になると人件費が削減されて職を失う人もいられるかも！ ないワン……。ひえ〜

マイバッグやマイボトルを持ち歩く

ゴミになったレジ袋がマイクロプラスチックになり、海の生き物が食べてしまうという問題があります。マイバッグやマイボトルを持ち歩くことは、海の保全につながります。マイボトル持参でコーヒーが割引になるコンビニもあり、お得なサービスを活用しましょう。



海の水質汚濁が続くと、生態系のバランスが崩れて魚が食べられなくなっちゃうかも！ それは困るワン〜

い〜ぶるくんからのまとめコメント

暮らしの中で実践できることや、すでにやっていることがたくさんあったワン。僕1人が100個のSDGsアクションを起こすのは大変だけど、100人が1つの行動を起こすのは難しくないよね。今回の北知多フリモを読んで、何か1つでも楽しくSDGsアクションを起こすきっかけになったらうれしいワン!



学生が作成したSDGsカルタとサイコロ。17の目標を自分たちの言葉に置き換え、日本のSDGsの現状をわかりやすく説明しています



千頭教授と国際福祉開発学部3年の溝口綾子さん、和田渉夢さん



日本福祉大学で取り組むSDGs

国際福祉開発学部では、国際交流イベント「ワールドユースミレーティング」の一環として、1年生がカンボジアの子どもたちとオンラインで交流し、英単語や算数を教えています。4番の「質の高い教育をみんなに」と、17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。また、2021年にはSDGsカルタを制作。「安心安全な水道水そのまま飲めるのは日本だけ」など、読み札の言葉はすべて学生が考えました。取り札の裏には、「一部の国では安全な飲み水を得るために収入の半分が必要」などの情報を掲載し、学生目線でSDGsの目標を分かりやすく説明。カルタを用いたワークショップなど、楽しみながらSDGsを身近に感じられる活動をしています。今年度はSDGsトランプを制作予定です。

他にも、SDGsに力を注ぐ企業や団体を取材したり、SDGsに関心のある学生と企業をつなぐ就活イベントを企画するなど、学生たちが主体となって、地域の未来を考えながらアイデアを出し合い、SDGsにつながる取り組みを進めています。



SDGs就活イベントを3月に開催。SDGsに取り組む企業14社と愛知県内の大学生約30人が交流を深めました